



We are 鶉っ子!

福井市鶉小学校

令和7年10月2日

第6号 文責：校長

学 校 教 育 目 標 豊かな心を持ち たくましく生きる児童の育成

校訓(めざす児童像) 強い子 よい子 鶉の子

かつて秋は「涼しい」季節でしたが、現代では「暑い」季節と言わざるを得ないほどの高温が続く毎日でした。ようやく朝晩は涼しくなり、本日、校内体育大会が実施できたことをうれしく思います。

本校では、「主体的」な学びを大切にした教育に取り組んでいますが、あらためて「主体的」という言葉について考えてみました。似ている言葉に「自主的」という言葉がありますが、「主体的」と「自主的」は意味が違います。AIに違いを尋ねると、行動の起点が「自ら」(主体的)と「他者やあらかじめ決められていること」(自主的)と出てきます。つまり主体的な学びとは、**自らの意志に基づいた学習態度や活動**を意味しています。決して「自主的」な活動が悪いわけではありませんが、様々な多様な価値観が存在し、VUCA 時代と言われている変動性、不確実性、複雑性、曖昧性等の特性を持つ社会を生きる子どもたちには、**他人が決めた軸ではなく、自分軸でアクションを起こせる力**が求められています。そのため、本校では「主体的」な児童の姿を重視し、自分で決めることや自分が選択することを大事にしています。

今年度の校内体育大会は、「主体的」な活動を重視した体育大会にするために、いくつかの変更を加えました。まず、代表種目をなくし、リレーと綱引きは選抜種目として、全員がどちらかの種目に選手として出場することにしました。一定の枠を設けた上で、走順や並び順は児童が決めました。また全員種目を新たに作り、種目の内容は6年生児童が考えました。応援ではダブルキャプテン制として、各色の団長2名が中心となって、チーム内の対話を重視したやり方に変えました。今まで様々な調整や全体指導を教師が行っていた部分を、児童が中心となって行ったため、一見締まりがないように見えたり、練習不足のように見えたりしたかもしれません。しかし、児童の「失敗」の経験を保証し、失敗から学ぶ力を育成するためには、成功がイメージできる**教師からの先回りの助言を極力控え、自分たちで考え、改善しながら進んでいこうとする意識が必要だ**と考えました。そういった姿は、児童の様子に表れていたように思いました。本音を言えば、あと1週間くらい時間をかけてあげたいところでしたが、限られた時間の中で、よく頑張っていたのではないのでしょうか。

体育大会に向けての児童の様子については、以下の「校内体育大会」のところに書きました。



6年生を中心にした色別ミーティング

校内体育大会 10月2日(木)



1日延期にはなりましたが、当日は好天に恵まれ、校内体育大会が無事に行われました。予備日開催にもかかわらず非常に多くの保護者の方が児童の応援に来てくださりありがとうございました。今年のテーマである「世界一楽しむ最高の体育大会 目指せ優勝!」の言葉通り、一生懸命に競技に取り組む様子や、協力して応援、係活動などに向かう様子の中に、お子様が楽しんでいる姿を見て頂けたなら幸いです。

冒頭にも書きましたが、6年生は、校内体育大会に向けて、「どうすれば最高の体育大会にすることがで

きるか」ということを考えてきました。正直なところ、話し合いがうまく機能せずいらしたり、雰囲気が悪くなったりしたこともありました。指導の場面では、下級生にうまく指示が出せなかったり、時間配分が悪く何も進まなかったりしたこともありました。しかし、そういった頭打ちになる経験が、実は大事な経験でした。普段の生活の中で、「人の話を聞きましょう」と言われても、耳に入っていない児童もいます。しかし、自分が困り感を感じたことで教師や友達からのアドバイスを聞くことができ、次に進むことができたという場面がありました。徐々にではありましたが、このようなトライ＆エラーを繰り返しながら、「自分たちがやる」という気持ちが芽生え、その気持ちが6年生をリーダーとして成長させたように思いました。

5年生以下の児童は、6年生の姿を見ながら頑張る様子が見られました。本校は「1年生から6年生まで仲良く交流できる学校」なので、縦割り活動での教育効果は高いと思っています。応援の仕方を習った後、2年生は休み時間に色毎に分かれて応援「自主練」が始まっていました。1年生は、授業の前後のあいさつが、応援団長張りの大声になっていました。3、4年生は、学年種目についても、自分たちで話し合いながら作戦を立てるようになりました。5年生は、全校で動く場面などで、後方からどんどん声を掛ける姿が増えていきました。6年生リーダーに影響を受けた下級生が、自らの意欲や行動力の変容につながっている様子に、「目的をもった学校行事」の意味と価値を感じました。

実際の体育大会での経験はもちろんですが、大会に至るまでのバックヤードで児童は成長します。今年度後半の様々な活動の中で116名の鶺鴒っ子たちのますますの活躍を期待したいと思います。

学習の様子から



いくつかのクラスが川西中学校文化祭を見に行きました。さすが中学生でした。



6年生のスポーツフェスタです。他校の6年生ともフレンドリーに交流していました。



1年生の生活科のシャボン玉遊びです。大量のシャボン玉にすごく盛り上がりました。



4年生の福祉学習(心のバリアフリー教室)です。手話を楽しんで学びました。

～鶺鴒小学校PTAより～

先日お知らせしましたように、今年度はPTA講演会を企画しました。今や生活と切り離すことができないインターネットですが、ご家庭でのお子様に対する対応は非常に重要です。授業公開やマラソン大会などもあり、お仕事の調整などが必要だとは思いますが、是非この機会にお話を聞いてみていただきたく存じます。たくさんのご参加をお待ちしています。

なお、当日は引き渡し訓練もあるため、お子様と一緒に下校をする形となります。

- ・10月15日より2学期が始まります。2～4年生は、木曜日が6限になります。
- ・11月に予定されているマラソン大会の名称が「鶺鴒っ子チャレンジラン」と変更になりました。内容も変更になります。(詳細は後日お知らせします)

鶺鴒小学校のHP

<https://www.fukui-city.ed.jp/uzura-e/index.html#hpb-container>

ご意見ください

<E-mail: uzura-e@fukui-city.ed.jp>

